

2020年度2月25日 理事会議事録

1日時：2021年2月25日（木）19:00～21:20

2場所：ウェブ開催のため各自宅・職場

3参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・野本・
遠藤・神田・戸塚・澤口・佐藤良・西川・大郷（17名）

欠席理事：佐藤範（1名）

参加監事：田中（1名）

欠席監事：鶴見（1名）

その他：池田選挙管理委員長（1名）

4議事録署名人：錠内会長、野々垣理事、田中監事

5 審議事項

（1）選挙管理委員会

1）理事選挙について

池田選挙管理委員長より、理事17名監事0名の立候補があったと報告がされる。選挙公報をニュース、ウェブサイトに掲載予定。また、理事1名監事2名は理事会推薦になることが伝えられる。監事として錠内会長、野々垣副会長を推薦。⇒承認
理事の推薦者がいる場合金山事務局長に連絡する。

（2）事務局

1）重点課題 なし

2）審議事項

2-1）湯河原町介護認定審査会 次期委員（2021年度～2023年度）推薦の件

野地育子氏（曾我病院・継続）⇒承認

2-2）厚木市介護認定審査会委員変更について

12月の理事会で岩瀬充氏と有田誠氏で理事会承認しているが、有田氏より都合が悪くなったため変更したいと連絡があった。厚木市にはすでに変更依頼を有田氏よりしている。新たに岩島和香奈氏（神奈川リハビリテーション病院）の承認をお願いしたい。また、内諾の時点でこのようなことがないようにさらに確認していく。⇒承認

2-3）入会申込書等の様式変更工程の簡略化に伴う規約の変更について

現在入会申込書、退会申込書については規約集に別表の記載があり、変更には理事会承認が必要であるが、事務局運営に即した書式に変更しやすくするため、規約から別

表の記載をなくしたい。規約委員会には相談済。⇒承認

2-4) 2021 年度総会について

例年の流れでいくと 5 月 4 週目 (22・23 日) もしくは 5 週目 (29・30 日) の開催予定。予算案はすでにできているが、監査の日程、決算書の修正は例年通りであることから、例年通りの日程開催しか難しい。

現在、対面とオンライン両方での実施について規約委員会に相談しつつ検討中。会場は労働プラザを検討している (多目的ホール AB 294 名の 1/2 で利用可) が、緊急事態宣言が解除されるまで予約が行えない状態だが、理事の日程調整を行いたい。

⇒OT 協会の総会が 5 月 29 日であることから、5 月 22 日 23 日 30 日で予定を把握する。

1-5) 三役の互選について

総会終了後の臨時理事会で三役の選挙がある。現在の規定では直接無記名投票となっており、場所を借りて新理事を集めるか、規定を変更するか、規約委員会と相談中。

(3) 報告事項

3-1) OT 協会

3-1-1) 47 委員会

2 月 6 日 (土) 9:00~16:00 オンライン開催。木村副会長、野本理事、佐々木理事、大郷理事が参加。

3-1-2) 日本作業療法士連盟

研修会 DVD 「地域・共生と OT 議員」届く。

3-1-3) 令和 3 年度介護報酬改定説明会について

3 月 7 日 (日) 9:00~12:00 オンライン開催。OT 協会員ならだれでも参加可能。3 月 3 日まで。制度対策部と共有。

3-1-4) 第 14 回 障害保健福祉領域における作業療法 (士) の役割に関する意見交換会について

3 月 13 日 (土) にオンライン開催。

3-1-5) Covid19 感染対策に関する会長メッセージの発出について周知依頼

3-2) 行政

3-2-1) 神奈川県

3-2-1-1) 『地域支援事業のためのリハビリテーション専門職等窓口一覧 (仮称)』について

高齢福祉課より地域支援事業における、市町村からのリハビリテーション専門職等の派遣要請に対して安定的に確保できるしみづくりにつなげるために『地域支援事業のためのリハビリテーション専門職等窓口一覧 (仮称)』を作成したいと連絡あり。地域リハ部と連携していく。

3-2-2) 小田原市箱根町真鶴町湯河原町障害支援区分認定審査会委員について

理事 ML で審議し、山本潤氏（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）が承認された。

3-2-3) 小田原市介護認定審査会委員について

理事 ML で審議し、佐藤良枝氏（曾我病院認知症疾患医療センター）と舘下潤一氏（国府津病院）が承認された。

3-2-2) 厚労省 周知依頼

3-2-2-1) 職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防及び健康管理について https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16543.html

都道府県労働局に「職場における新型コロナウイルス感染拡大防止対策相談コーナー」を新たに設置し、事業主及び労働者からの相談等への対応を行うとのこと。

3-2-2-2) 「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律」における差別的取扱い等の防止に関する規定について

3-2-2-3) 新型コロナ交付金の着実な交付（申請漏れ等が起きない）について

3-2-2-4) 消費税転嫁対策特別措置法失効に伴う国からの周知内容について

3-2-2-5) 病床ひっ迫時における在宅要介護高齢者が感染した場合の留意点等について

3-2-2-6) 高齢者施設の従事者等の検査の徹底について

3-3) 関係団体

3-3-1) NHK厚生文化事業団、NHKエンタープライズ

3月14日（日）オンラインフォーラム「超高齢社会を生きる～コロナ禍に考えるフレイルと長寿の生き方・備え方」開催の案内があり、研修会フォームを紹介した。

3-3-2) 神奈川県病院協会学術委員会の開催について

2月17日（水）16:15～ウェブ開催。錠内会長が参加。

3-3-3) 横浜市まちづくりセンターから講師依頼

講習会の講師依頼があったが、緊急事態宣言が発出されたことにより中止になった。日を改めて依頼したいとのこと。

3-4) 士会内

3-4-1) 学生の施設見学希望について

就職活動中の一般大学生より作業療法士に興味を抱いている、施設見学ができないかとの依頼があり、オンラインでの見学について調整中。今後、施設見学や養成校に関する問い合わせなど作業療法士になりたい方への窓口等について整備・検討していく。

3-4-2) OT 協会用のパソコンとプリンター修理について

2月12日より修理に出していた。2月17日より利用可能になった。

3-4-3) 会員の資格喪失者について

2020年度の総会で承認され、3年以上継続して県士会から通知または催促が届いていない会員は資格の喪失（強制退会）が可能となった。2015年度、2016年度から連絡がとれていない4名と、会費が未納の2名が対象となる。

3-4-4) 今年度発行の学術誌について

新入会員減少のため約160部事務局に余っている。学術誌班の幅田班長に相談したところ、廃棄せずできれば2021年度新入会員に2021年度学術誌と合わせて送ってもらえないかという提案があった。学術誌2冊とニュースで重さとしては500g程度であり、ヤマトDM便は1kgまでは料金が変わらないので2020年度学術誌余りを2021年度新入会員に回す方針。ただし、全員に行きわたらない可能性があるため方法を再検討する。

3-4-5) 2021年度休会希望者について

理事MLで審議し、15名が承認された。

3-4-6) 著作権譲渡契約書について

作業が完了し、契約書は事務局管理となった。

(2) 財務部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし

(3) 学術部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項

2-1) 学術部・福利部主催の新人オリエンテーションおよび研修会について

今年度は新人会員の入会が少なかった観点から、来年度の6月に開催予定の学術部・福利部主催の新人オリエンテーションおよび研修会の準備・告知を早めに準備し、3月の県士会ニュースに掲載したい。

⇒福利部からの提案を鑑み、6月13日（日）に開催。実習できなかった学年が社会人となるので不安の共有や理事からのアドバイスを行う予定。

3) 報告事項

3-1) スキルアップ研修会予定

3-1-1) 仲間や組織で実践する作業療法～誰もが知りたいリーダーシップと組織マネジメント論～

2月6日（土）10:00~11:30（90分）

講師：福留大輔氏（横浜旭中央総合病院）

参加予定人数：30名

⇒2021年4月25日に延期（緊急事態宣言中に鑑みて延期。予算は次年度で執行）。

3-1-2) 動機付け面接を学ぼう（決定）

3月7日（日）13:30~15:30（120分）

講師：澤山透氏（相模が丘病院）

参加予定人数：30名

⇒自宅で運営することで緊急事態宣言中においても行う。

3-2) 学術誌刊行班より

神奈川県作業療法研究のvol.11の刊行に向け準備している。

3-3) 研究助成事業

規定の変更を予定している。汎用性のある物品購入制限に関する改訂。来年度の研究助成事業までに整える。

3-4) 研修会の参加費のオンライン決済の導入への検討について

添付資料参照。次回三役会で検討の上、理事会審議の予定。

(4) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 研修会開催報告

3-1-1) 現職者共通研修 オンライン開催

2月7日：4テーマ、参加者延べ125名

2月11日：昨年度の事例報告会：参加者延べ79名

2月23日：4テーマ、135名申し込み

2月28日：今年度事例報告会、72名申し込み

3-1-2) 臨床実習指導者講習会 オンライン開催 公募

2月20-21日：参加者79名

3月13-14日：参加者80名定員

3-1-3) その他

3-1-3-1) 臨床実習指導者講習会

9月5-6日、10月3-4日、昨年度開催延期分をオンライン開催、各50名参加

3-1-3-2) 現職者選択研修 中止

3-1-3-3) 事例報告登録制度研修会 中止

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) ニュース班

3-1-1) ニュースの発行について

2月号サイトで公開された。4月号(郵送号)準備中。原稿は締め切ったが、まだ受付可能。緊急の場合相談する。

3-1-2) 会員向けのニュース内容の希望に関するアンケートについて

4月23日まで延長予定。

3-2) 対外広報班

3-2-1) 活動中止報告

リハビリテーションケアフォーラム 2月開催予定。中止連絡あり。

介護支援専門員研究大会 2月開催予定。ホームページにて開催中止確認。

相模原市民さくらまつり 4月開催予定。中止連絡あり。

3-2-2) 活動予定

未定。今年度のすべての活動が非実施の状況。対外的な活動の継続方法として、SNS(インスタグラム開設)について継続検討中。現状でも活動できる方法としては、ブース出展(体験・相談)よりもSNS/メディア媒体での情報発信として適切と考えている。

(6) 福利部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

2-1) 学術部・福利部主催の新人オリエンテーションおよび研修会について

来年度開催予定の活動に対するチラシ配布を行う。

3) 報告事項

3-1) 求人関連(2020.12.14~2021.2.4)

3-1-1) 新規掲載 21件(有料1件)

3-1-2) 変更依頼 2件

3-1-3) 削除依頼 2件

3-1-4) 問い合わせ 2件

3-2) 新規入会チラシの作成について

新規入会チラシ作成にあたり、情報発信として各部・委員会の研修会等の情報を掲載したい。ターゲットが新人ということもあり、関心が高いであろう研修会・講習会についての情報発信を行い、入会を促したい。

- 3-3) 学術部合同企画 新入会員オリエンテーション及び会員交流会について
2021年6月13日(日) オンライン開催。学術部研修会後、相談会及び懇親会を開催予定。理事は相談役などを担当してほしい。参加者を募る。
- (7) 地域リハビリテーション部
- 1) 重点課題 なし
 - 2) 審議事項 なし
 - 3) 報告事項
- 3-1) 地域リハ部事業状況
- 3-1-1) 研修会企画
 - 3-1-1-1) 地域リハビリテーション人材研修会
ウェブ開催にて規模を縮小して実施。3月6日 13:00~17:00
 - 3-1-1-2) 発達研修
ウェブ開催。3月7日 10:30~15:00
 - 3-1-1-3) 他の研修会 中止
- 3-2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告
今年度の訪問リハ実務者研修会を検討。訪問リハ財団から訪問リハブロック会議の連絡。1月20日ウェブ開催。木村副会長参加。
- 3-3) その他
- 3-3-1) OT協会地域包括ケア委員会のWeb研修会
関東ブロック会議2月2日開催。遠藤理事と札幌部員で参加。各担当部署で事業目標を立てたりしているかと共有。次回、4月~5月に開催予定。
 - 3-3-2) 県建築士会「専門職連携 住宅改修のワークショップ」
2月13日土曜日開催。ウェブ研修会で作業療法士会からは遠藤理事が対応。
 - 3-3-3) 横須賀市福祉部から士会へ依頼
2021年度「自立支援・介護予防の観点から実施する地域ケア個別会議」参加依頼があった。遠藤理事の方で対応し、将来的に横三地区の作業療法士へ引継ぎをしていく方向で考えている。
- 3-3) 神奈川県から依頼
『地域支援事業のためのリハビリテーション専門職等窓口一覧(仮称)』の作成あたり、依頼の際に必要な内容などについて県士会の方へ依頼があり。窓口一覧表の作成目的としては、地域支援事業における、市町村からのリハビリテーション専門職等の派遣要請に対して安定的に確保できるしみづくりにつなげるためとのこと。今後、窓口一覧の作成(担当者)が再度県士会へ来る予定。
- 3-4) 県委託事業について
2月9日に市町村研修会で報告予定。報告書は県から配布される。

(8) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 福祉用具班

3-1-1) 生活行為工夫モデル事業 事例投稿のお願い (12月ニュース)

現在、3事例収集、全て班員。前回相談した、事例登録に対するポイント付与については、他県士会の動向を確認し、奥原理事に相談中(福島、茨城は付与しないことに)。事例の具体的活用について、西川理事と相談中。

3-1-2) 認知症対策委員会コラボ研修

2月27日に実施。当班から認知症の方の生活行為工夫事例の紹介した。

3-2) 自動車運転班

3-2-1) ブログ更新

3-2-2) 都士会が開催する自動車運転に関する研修に参加予定。

(9) 規約委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 会員規程の変更について

事務局より、入会申込書、退会申込書の様式の変更の相談があった。現在、入会申込書は会員規程の別表の扱いとなっており、総会での決議が必要な状態にある。入会申込書等については今後も変更になる可能性もあり、可能な限り円滑に変更する必要あると考え、会員規程の文言の変更を事務局に提案している。

3-2) マニュアルの整備に関して

規約委員会では一昨年よりマニュアルの有無について調査をしている。現時点で回答のあった部・委員会の情報共有を実施。また、今後の展望についても議論を開始した。

3-2-1) 回答いただいている部・委員会

財務部、学会評議委員会、福利部、ウェブサイト管理委員会、地域リハビリテーション部、認知症対策委員会、規約委員会、エリア化推進委員会

(10) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 新コンテンツ「絵本でみる作業療法」について

運用開始。今後も順次更新予定。県士会ニュース 207 号掲載。

(1 1) 学会評議委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

2-1) 学会評議委員会部員の増員

小柳俊介氏（医療福祉法人五星会 菊名記念病院）会員情報確認済⇒承認

2-2) 2022 年の臨床大会の大会長の選出について

1 月末日までの公募に対して応募者なし。大会長・学会長を探すことに労力がさかれ、肝心のマニュアル作りに至らない。時期や臨床大会大会長をその時の県士会長に依頼すること、実行委員会の設置や今後運営について提案があった。

2-2-2) 意見交換

佐々木：名前は「臨床大会」で妥当なのか。

戸塚：学会評議委員会の中でも名称に関しても意見はあがっている。

澤口：県学会に一本化するという意見はでなかったのか。

戸塚：毎年学会を開催するには予算的に難しいため、できることを考えた。

澤口：公益という観点だと会員のみよりも県民も参加できることを考えてほしい。

西川：参加者として臨床大会と県大会の区別はつきにくかった・臨床大会で大会が注目していることを離す機会があってもよいのか。

玖島：直接会員に貢献できる場として毎年集まれる機会があればよい。

神保：世界の動向を見ても、各学会をずらし、短い周期で集まれる機会を設定している。臨床大会を県大会の後押しという位置づけにしてもよいのでは。

遠藤：実際臨床大会に似た会は他にもあるので、規模を小さくしても学会を行う方法もあるのでは。

錠内：発表の機会を設けるかどうかという論点であれば一度発表をしないという方法もあるのではないか。その時の理事が決めていけばよいと思う。

大郷：代議員のアンケートを検討しているのでそこに入れてもいいかも。

⇒3 月の臨時理事会で提案について情報整理したものを再提出してもらおう。

2-3) 学会等の内規の整備

2-3-1) 県学会（及び臨床大会）参加者の枠組みの規定（新規）

2-3-2) 県学会（及び臨床大会）参加費の金額の規定（新規）

学会及び大会の開催に当たっては、参加費の設定はその企画の規模に応じて変動させることが望ましい。一方で、学会を含む研修会の金額設定のルールを規定

することは、学会を準備する実行委員会の負担軽減と会員であることのメリットを明らかにすることにもつながるのではないかと考える。

2-4) 備品の購入について

ハードディスク 3 台 (理事・学会班長・臨床大会班長分) を購入したい。学会及び臨床大会の永続的なデータ管理、マニュアル整備、引き継ぎ (個人物ではなく県士会備品とすることで、きちんとデータが保管・引き継ぎが実施できる)、学会と臨床大会、それぞれが班に分けて活動していくことが今後は増えるため購入したい。

4-4-1) 経過

いままでは、Google クラウド経由で (委員会内で) 共有していたが、資料が膨大でデータの吐き出しに手間がかかる。また現在学会実行委員会では Slack というプラットフォーム上での情報共有をしているが、無料版はデータ容量が制限されており、別にデータを保管しておく必要がある。現在は個人の USB を使用している状況である。

⇒現状の確認後、クラウドも検討していく。

3) 報告事項

3-1) 第 18 回県学会 オンライン配信 (抄録を含む) に当たっての企業との契約締結
契約先: 株式会社 コームラ

3-2) 県学会での新規取り組みについて

3-2-1) 発表支援システムの導入について

実際の運用及び運営については、県士会学術部の応援・協力を仰ぎながら進めていく。

3-2-2) 広告について

今回はハイブリッド学会のため、抄録集は印刷せずにオンライン公開となる予定。それに伴い、広告は HP にバナーを貼り付けるなどして対応していく予定

3-3) 第 18 回県学会進捗報告

3-3-1) 4 役会の開催について

2021 年 1 月 13 日 (2 回目)、2021 年 2 月 4 日 (3 回目) それぞれ実施済み。

(1 2) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) リハ手帳について

2 月 24 日に会議が行われる予定であったが、オンラインの調子が悪く延期となった。

(1 3) 生活行為向上マネジメント推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし

(14) 認知症対策委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項

3-1) OT 協会意見交換会報告

1月31日(日)にOT協会意見交換会に3名出席。人材育成と派遣に関して意見交換を行った。交通費とボランティア保険加入について説明した。

3-2) 制度対策部福祉用具班との合同研修会(オンライン)

2月27日(土)開催予定

(15) 地域包括ケアシステム推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項

3-1) 他部署連携

3-1-1) 制度対策部福祉用具班(沼田班長)

横浜市における地域リハ活動支援事業について説明、事業内で福祉用具を取り上げる方法の提案や、対象となる住民の方々を受けいられそうな福祉用具の例、福祉用具班での事例集についての情報交換を行った。

3-2) 横浜市事務事例検討会(2021.1.26、オンラインにて開催)

3-2-1) 緊急事態宣言下での地域のグループ活動について

施設等の利用中止で実施できないグループは出ているが、開催の可否はグループの自主性に任せている。

3-2-2) 各士会の派遣状況について

前回の宣言下同様、各所属先の行動指針を遵守し、可能な範囲での依頼受託となっていることを報告。

3-2-3) 2021年度の上期の派遣依頼時期について

例年、派遣依頼一覧は2月中旬に完成できているが、今期はコロナの影響で各区の依頼を順延しているため、4、5月の依頼については個別に士会へくることになった。一覧は6月以降のスケジュールとなる予定。

3-2-4) その他情報交換を実施

今年度、Zoomなど遠隔で支援事業を実施した区が2区ある、情報を詳しく共有

し、今後試験的にモデルグループなど行っていくかなど検討。

(16) エリア化推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
- 3-1) 代議員へのアンケート実施について
現在検討中。

(17) 監事より

引き継ぎができるようなデータ化をお願いしたい。意見交換が行える理事会の運営をこれからも継続してほしい。

(18) 渉外

- 1) 公益社団法人 神奈川県病院協会 2020年度第2回学術委員会
2021年2月17日 16:15~17:00 場所: オンライン
会議参加者: 錠内広之
内容: 第40回神奈川県病院学会について
- 2) 47委員会
2021年2月6日(土) 9:00~16:00 場所: オンライン開催
会議参加者: 木村修介、野本義則、佐々木秀一、大郷和成
内容: 協会員=士会員について

6次回予定

- (1) 臨時三役会 3月7日(月) 18:30~
- (2) 臨時理事会 3月25日(木) 19:00~

以上、文責 金山

議事録署名人	議長:	錠内 広之	印
	理事:	野々垣 睦美	印
	監事:	田中 ゆかり	印